

参考文献リスト

第1章

- 1) 道路構造令（昭和四十五年十月二十九日政令第三百二十号）
- 2) 国土交通省：物理的デバイスの設置に関するアンケート調査（平成26年度）
- 3) 国土交通省：道路行政の簡単解説。
(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/dorogyousei/0.pdf>)
- 4) 国土交通省：第4次社会資本整備重点計画、2015.9
- 5) 国土交通省：社会資本整備審議会道路分科会建議 中間とりまとめ、2012.6
- 6) 内閣府 中央交通安全対策会議：第10次交通安全基本計画、2016.3
- 7) 日本道路協会：道路構造令の解説と運用、2015.6
- 8) 交通工学研究会：生活道路のゾーン対策マニュアル、丸善出版、2011.12

第2章

- 9) 大橋幸子、鬼塚大輔、稲野茂：生活道路におけるハンプ等の速度抑制対策の効果的な表示内容に関する調査、土木学会年次学術講演会講演概要集、Vol.70 No.4、pp.247-248、2015
- 10) 交通工学研究会：コミュニティ・ゾーン形成マニュアル、1996.5
- 11) 交通工学研究会：コミュニティ・ゾーン実践マニュアル、2000.7
- 12) 交通工学研究会：生活道路のゾーン対策マニュアル、丸善出版、2011.12

第3章

3-1 凸部

- 13) 大橋幸子、鬼塚大輔、木村泰：速度調査と意識調査からのハンプ設置に関する走行状況の把握、第34回交通工学研究発表会論文集、pp.593-596、2014
- 14) 鬼塚大輔、大橋幸子、稲野茂：ハンプおよびシケインの効果的な設置位置と間隔に関する研究、土木計画学研究・講演集、Vol.51(168)、2015.6
- 15) 国土交通省国土技術政策総合研究所、つくば市：記者発表資料（速度抑制等による通学路交通安全対策を実施）、2015.9
(<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/kisya20150903.pdf>)
- 16) 国土交通省：道路運送車両の保安基準（昭和二十六年七月二十八日運輸省令第六十七号）
- 17) 国土交通省：道路運送車両の保安基準の細目を定める告示
- 18) 国土交通省：移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準（国土交通省令第一百十六号）、2006.12
- 19) 武本東、坂本邦宏、崔正秀、久保田尚：単断面道路へのハンプ設置の可能性に関する研究、第24回交通工学研究発表会論文報告集、pp.53-56、2004
- 20) 鎌田将希、府中晋之介、小嶋文、久保田尚：形状・構造の違いに着目したハンプ普及可能性に関する研究、土木学会論文集D3(土木計画学)、Vol.70 No.5、pp.I_1173-I_1182、

2014

- 21) 鎌田将希、府中晋之介、小嶋文、久保田尚：形状・構造の違いに着目したハンプ普及可能性に関する研究、土木計画学研究・講演集、Vol. 48(262)、2013
- 22) 渡辺義則、清田勝、寺町賢一、出川智久：サイン曲線弓形と台形という形状の違いがハンプ上を通過する小型貨物車から発生する衝撃音へ与える影響、交通科学 40(2)、pp. 111-118、大阪交通科学研究会、2009
- 23) 渡辺義則、寺町賢一、清田勝、竹下真二：サイン曲線弓形ハンプで跳躍する車から発生する衝撃音の測定とそれを考慮した沿道騒音の予測、交通科学 39(2)、pp. 31-38、大阪交通科学研究会、2008
- 24) 高宮進、森 望、久保田尚、坂本邦宏：ハンプ通行時の速度、加速度と、速度の抑制意向、第 20 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 173-176、2000
- 25) 警察庁：交通規制基準 (H26. 8. 8 現在)
- 26) 警察庁：法定外表示等の設置指針について、警察庁丁規発第 7 号 平成 26 年 1 月 28 日 警察庁交通局交通規制課長通達
- 27) FGSV(Forschungsgesellschaft für Straßen- und Verkehrswesen) : RASSt06 (Richtlinien für die Anlage von Stadtstraßen)、2007
- 28) Norme française (France) : Ralentisseurs routiers de type dos d'âne ou de type trapézoïdal、1994
- 29) Department for Transport(UK) : Traffic Calming、Local Transport Note 1/07、2007
- 30) The Institute of Transportation Engineers (ITE) : Traffic Calming Measures (<http://www.ite.org/traffic/tcdevices.asp>)
- 31) Delaware : Delaware Traffic Calming Manual、USA、2000
- 32) 川瀬晴香、大橋幸子、高宮進：形状の違いによるハンプの速度抑制効果の比較、土木計画学研究発表会・講演集、Vol. 53、pp. 934-937、2016
- 33) 池田典弘、寺倉嘉宏、陶山良介、片倉正彦：簡易台形ハンプによる速度抑制効果に関する研究、第 25 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 193-196、2005
- 34) 島田歩、久保田尚、高宮進、石田薫：ハンプの形状に関する実験的研究 ―効果と安全性及び騒音振動の検討―、第 20 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 169-172、2000
- 35) 磯田伸吾、久保田尚、坂本邦宏、高宮進：複数ハンプの配置に関する実験的研究、第 21 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 193-196、2001
- 36) 橋本成仁、三村泰広、増岡義弘、榎本貴好：設置型ハンプに関する研究 ―豊田市での社会実験による検討―、第 27 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 305-308、2007
- 37) 清田勝、斉藤健治、古賀勝喜：サイン曲線ハンプの速度抑制効果と適正間隔、交通科学 36(2)、pp. 77-84、大阪交通科学研究会、2005
- 38) 島田歩、坂本邦宏、久保田尚、高宮進、石田薫：据付型ハンプの形状に関する実験的研究、土木学会年次学術講演会講演概要集、Vol. 55 No. 4、pp. 946-948、2000
- 39) 久保田尚、坂本邦宏、崔正秀、武本東、中野英明：ハンプの長期公道実験による有効性の検証―地区道路の事故多発交差点における安全性向上に関する実験的研究―、土木計

- 画学研究・論文集、Vol. 21 no. 4、pp. 875-884、2004
- 40) 鈴木正徳、葛山順一、南部繁樹、高田邦道：物理的デバイスによる速度抑制の住民・利用者評価—千葉県鎌ケ谷市の社会実験から—、第 24 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 45-48、2004
 - 41) 清田勝、斎藤健治、渡辺義則、伊藤昌明：ハンプを主体にした交通安全対策の有効性、土木計画学研究・論文集、Vol. 22 no. 4、pp. 823-830、2005
 - 42) 花田健司、川村治代、澤田等、濱村義夫：コミュニティゾーンにおける安全対策の手法とその効果について、第 18 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 77-80、1998
 - 43) 今村克己：プローブシステムを用いたハンプ、クランクの効果検証、近畿地方整備局研究発表会、2007
 - 44) 橋本成仁、牧野幸子・高橋洋：狭幅員道路における交通静穏化デバイス設置可能性に関する検討、土木計画学研究・講演集、Vol. 26、2002
 - 45) 吉田雅俊、小嶋文、久保田尚：ハンプの連続設置効果と適正間隔に関する研究、第 27 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 309-312、2007
 - 46) 内藤明：国分寺市におけるハンプ、狭さく社会実験、道路、795 号、pp. 33-36、日本道路協会、2007. 5
 - 47) 市原慎介、吉田進悟、小嶋文、久保田尚：ハンプの短区間連続設置における周辺環境への影響および有効性の検証、土木学会論文集 D3 (土木計画学)、Vol. 67 No. 5、pp. I_1165-I_1172、2012
 - 48) 田村亨、黒川洸、石田東生、中沢泉美：コミュニティ道路整備の事後評価、日本都市計画学会学術研究論文集、Vol. 26 No. 39、pp. 229-234、1991
 - 49) 中井宏、臼井伸之介：交差点内の台形ハンプが通過ドライバーに及ぼす影響—速度抑制効果の持続性とその波及性—、人間工学、Vol. 47 No. 5、pp. 222-228、日本人間工学会、2011
 - 50) 吉田郁美、渡辺茂樹、松原淳、松本幸司：ハンプの効果持続性と速度計測手法に関する研究、第 28 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 217-220、2008
 - 51) 大橋幸子、鬼塚大輔、稲野茂：生活道路への流入車両に対する幹線道路のスムーズ歩道・交差点狭さくの効果、土木計画学研究・講演集、Vol. 51 (169)、2015
 - 52) 日本道路協会：道路構造令の解説と運用、2015. 6
 - 53) 交通工学会：コミュニティ・ゾーン形成マニュアル、1996. 5
 - 54) 交通工学会：コミュニティ・ゾーン実践マニュアル、2000. 7
 - 55) 交通工学会：コミュニティ・ゾーンの評価と今後の地区交通安全、2004. 3
 - 56) 交通工学会：生活道路のゾーン対策マニュアル、丸善出版、2011. 12
 - 57) 交通工学会：路面標示 設置マニュアル、丸善出版、2012. 1
 - 58) 国土技術研究センター：増補 改訂版 道路の移動等円滑化整備ガイドライン、大成出版社、2011. 8

3-2 狭窄部

- 59) 道路構造令（昭和四十五年十月二十九日政令第三百二十号）
- 60) 車両制限令（昭和三十六年七月十七日政令第二百六十五号）
- 61) 伊藤克広、本田肇、高橋治、金子正洋：生活道路における狭さく の速度抑制効果に関する研究、土木計画学研究・講演集、Vol. 41 (114)、2010. 6
- 62) 大橋幸子、川瀬晴香、高宮進：双方向通行での狭窄部における減速状況と交通量に関する研究、土木計画学研究発表会・講演集、Vol. 53、pp. 930-933、2016
- 63) 大橋幸子、鬼塚大輔、木村泰、藪雅行：歩道のない双方向道路におけるシケインの形状・間隔と車両の速度・挙動の関連分析、土木計画学研究・講演集、Vol. 49 (148)、2014
- 64) 本田肇、伊藤克広、金子正洋、高宮進：簡易デバイスを用いた生活道路における速度抑制に関する研究、第 31 回交通工学研究発表会論文集、pp. 123-127、2011
- 65) 内藤明：国分寺市におけるハンプ、狭さく の社会実験、道路、795 号、pp. 33-36、日本道路協会、2007. 5
- 66) 花田健司、川村治代、澤田等、濱村義夫：コミュニティゾーンにおける安全対策の手法とその効果について、第 18 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 77-80、1998
- 67) 本田肇、伊藤克広、金子正洋：物理的デバイス形状の違いによる速度抑制効果に関する研究、第 30 回交通工学研究発表会論文集、pp. 357-360、2010. 9
- 68) 橋本成仁、坂本邦宏、高宮進、久保田尚：三鷹市コミュニティ・ゾーンの安全性と生活環境向上に関する評価、土木計画学研究・論文集、Vol. 17、pp. 797-804、2000
- 69) 佐久間康一、大石克行、高橋彬：文京区におけるコミュニティ・ゾーン整備、道路、824 号、pp. 24-27、日本道路協会、2009. 11
- 70) くらしのみちゾーン連絡会議事務局：「くらしのみちゾーン」ノウハウ集、pp. 26、2007. 5
- 71) 渡辺久仁子、牧野幸子、橋本成仁、長谷川豊：コミュニティ・ゾーンにおける交通安全施策効果の検証、第 25 回交通工学研究発表会論文報告集、pp. 205-208、2005
- 72) 高宮進：狭さく の設置間隔と速度抑制効果、土木学会年次学術講演会講演概要集、Vol. 53 No. 4、pp. 548-549、1998
- 73) 橋本成仁、牧野幸子・高橋洋：狭幅員道路における交通静穏化デバイス設置可能性に関する検討、土木計画学研究・講演集、Vol. 26、2002
- 74) 大橋幸子、鬼塚大輔、木村泰：通学路入口部の抜け道対策に対する住民・ドライバー意識の調査、土木計画学研究・講演集、Vol. 50 (242)、2014
- 75) 大橋幸子、鬼塚大輔、稲野茂：生活道路への流入車両に対する幹線道路のスムーズ歩道・交差点狭さく の効果、土木計画学研究・講演集、Vol. 51 (169)、2015
- 76) 日本道路協会：道路構造令の解説と運用、2015. 6
- 77) 交通工学会：コミュニティ・ゾーン形成マニュアル、1996. 5
- 78) 交通工学会：コミュニティ・ゾーン実践マニュアル、2000. 7
- 79) 交通工学会：コミュニティ・ゾーンの評価と今後の地区交通安全、2004. 3
- 80) 交通工学会：生活道路のゾーン対策マニュアル、丸善出版、2011. 12
- 81) 国土技術研究センター：増補 改訂版 道路の移動等円滑化整備ガイドライン、大成出版

3-3 屈曲部

- 82) 道路構造令（昭和四十五年十月二十九日政令第三百二十号）
- 83) 大橋幸子、川瀬晴香：生活道路における速度抑制のための屈曲部の形状に関する研究、第36回交通工学研究発表会論文集、2016
- 84) 本田肇、伊藤克広、金子正洋：物理的デバイス形状の違いによる速度抑制効果に関する研究、第30回交通工学研究発表会論文集、pp.357-360、2010.9
- 85) 青木英明、久保田尚、山田晴利、吉田朗：シケインの形態と速度抑制効果に関する基礎的研究、土木計画学研究・論文集、No.4、pp.253-260、1986
- 86) 本田肇、伊藤克広、金子正洋、高宮進：簡易デバイスを用いた生活道路における速度抑制に関する研究、第31回交通工学研究発表会論文集、pp.123-127、2011
- 87) 山岡俊一、田川央：コミュニティ道路におけるイメージフォルトの効果に関する基礎的研究、土木計画学研究・論文集、Vol.24 no.4、pp.843-849、2007
- 88) 今村克己：プローブシステムを用いたハンプ、クランクの効果検証、近畿地方整備局研究発表会、2007
- 89) 泉賢二郎：コミュニティ道路の考え方と実施例、第31、32回交通工学講習会テキスト、1983
- 90) 川上光彦、馬場先恵子、堀徹也、村田康裕：シケインを用いた社会実験による交通環境改善効果に関する調査研究 —金沢市長町地区の事例—、土木計画学研究・論文集、No.14、pp.727-735、1997
- 91) 天野光三、榊原和彦、藤埴忠司、福井義員：歩車共存道路におけるフォルトの速度抑制効果の分析、交通工学、第21巻6号、pp.7-18、1986
- 92) 瀬尾卓也、高宮進、小原裕博：コミュニティ道路の整備手法と速度抑制効果に関する研究、土木研究所資料第3441号、pp.25-39、1996
- 93) 田村亨、黒川洸、石田東生、中沢泉美：コミュニティ道路整備の事後評価、日本都市計画学会学術研究論文集、Vol.26 No.39、pp.229-234、1991
- 94) 山盛旭、原田枢四郎、斎田周治：名古屋市中におけるコミュニティ道路の施行について、日本道路会議一般論文集、Vol.15、pp.741-742、1983
- 95) Department for Transport(UK)：Traffic Calming、Local Transport Note 1/07、2007
- 96) FGSV(Forschungsgesellschaft für Straßen- und Verkehrswesen)：RASt06 (Richtlinien für die Anlage von Stadtstraßen)、2007
- 97) 日本道路協会：道路構造令の解説と運用、2015.6
- 98) 交通工学研究会：コミュニティ・ゾーン形成マニュアル、1996.5
- 99) 交通工学研究会：コミュニティ・ゾーン実践マニュアル、2000.7
- 100) 交通工学研究会：コミュニティ・ゾーンの評価と今後の地区交通安全、2004.3
- 101) 交通工学研究会：生活道路のゾーン対策マニュアル、丸善出版、2011.12
- 102) 国土技術研究センター：増補 改訂版 道路の移動等円滑化整備ガイドライン、大成

出版社、2011. 8

第 4 章

- 103) 国土交通省：安全で快適な自転車利用環境創出の促進に関する検討委員会資料、
2014. 12～2016. 2